

足柄東部清掃組合構成町民の皆様へ

足柄東部清掃組合

組合長 杉山祐一

焼却施設の破砕機の破損について

日頃より、当組合の一般廃棄物(ごみ)処理業務にご理解をいただき、大変ありがとうございます。
大井美化センターでは、稼働より35年が経過し、年2回の焼却を停止して、定期的に点検整備を行い、焼却炉の延命化を図りながら、維持管理を行っております。

今回の定期点検において、別添写真のように破砕機の破損が見つかりました。原因は、金属の塊のような固いものが、燃やすごみに紛れ込んで、破砕機に噛み込んだことが原因とされます。

この破砕機は、焼却前のごみを細かくして、燃焼効率を良くすることで、ダイオキシン対策や焼却炉の延命化、焼却経費の節減を図る重要な役割を持つ機械です。

以前にも同じような破損事故はありましたが、今回のように歪みによる刃の取り付けができない状態になったのは初めてで、この修理には、刃の作成や歪みの調整に数か月を要し、修理も高額となります。

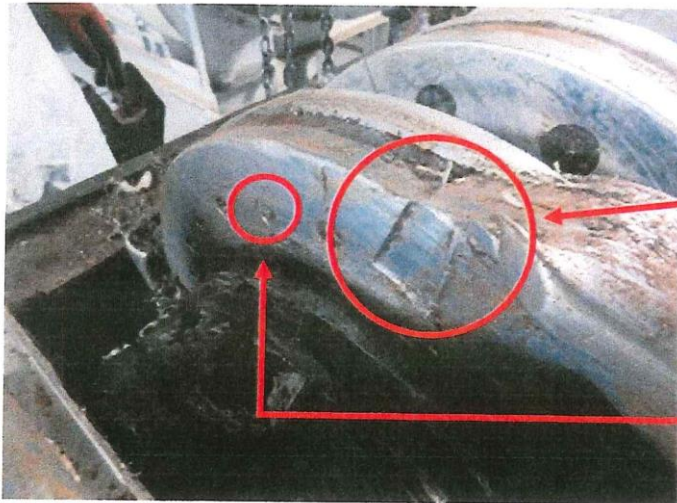
この修理費は、町民皆様の税金から支出をして修理をしなくてはなりませんので、二度とこのようなことの起きないように、燃やすごみに燃えないごみを混ぜないように分別の徹底をお願いします。

【燃やすごみに入っていた不燃物の例】



【破損した破砕機の写真】

金属が激しく当たった跡がある。機械のゆがみにより刃の取り付けができません。



上本体解放後、確認。
サイドブレードが、脱落していました。
取付ボルトは折れ残ったボルトは、
取り除くことが困難です。

※打痕があります。
(かなりの衝撃があったと思われます。)

※折れ残ったボルト

【破損した破砕機の写真】

金属の噛み込んだ跡があり機械のゆがみにより、刃の取り付けができません。



歪みにより刃の取り付けができない

金属の塊が噛み込んだ跡

2020.09.01